

科目名	森林科学	単位数	2 単位	学科・学年	森林総合 科 2 年	
使用教科書	森林科学（実教出版）			副教材等		
学習目標	<p>森林の果たす役割、育林の意義、治山について学習します。 森林の仕組みと機能を理解したうえで、地域ごとの自然条件に適した管理手法を学び、生物、土や水の知識、土木技術に基づいた、地域社会が納得できるような環境づくりができる力を身につけることを目標とします。 この科目の学習内容は、2年次の森林資源コース「森林科学」、3年次の森林資源コース「森林科学」、3年次の「測量」につながっていきます。</p>					
学習評価	○ 次の四つの観点に基づき、学習内容のまとめり（定期考査までを学習のひとまとめり）ごとに下の評価規準により評価を行い、学年末に5段階の評定に総括します。					
	①関心・意欲・態度	森林に関心を示し、森林保護・環境保全の視点に立った学習活動ができる。				
	②思考・判断・表現	現代の森林が抱える問題を理解したうえで、解決策を考え出すことができる。				
	③技能	身近に存在する森林の状態を正しく評価することができる。				
	④知識・理解	植物の生理、動物の行動、土の構造、水と大気の循環など森林を構成する個々の要素について正しく理解し、森林全体の仕組みを知っている。				
		評価方法\観点	①	②	③	④
		学習状況観察	◎		◎	
ワークシート		—	—	—	—	
課題レポート			◎	◎		
ペーパーテスト			○		○	確認テスト・定期考査
※表中の◎は観点の中でより重視するところです。						
履修上の注意	<ul style="list-style-type: none"> ○ 森林総合科の2年生Aコースが履修する科目です。 ○ 授業では毎時間板書内容をノート、またはプリントに書き写してもらいます。ノートを準備しておいてください。 ○ ノート、またはプリントを時々提出してもらいます。欠席した場合には、休んだ分の内容を提出日までに書き写すようにしてください。 ○ 定期試験前に補習を行う場合があります。 ○ 授業時に実習を行う場合があります。実習服を常に準備しておいて下さい。 ○ 毎回の授業に、教科書・ノートは必ず持参して下さい。 					

学期	月	学 習 内 容	時 数	学 習 の ね ら い	学習活動（評価方法）
1	4	第3章 森林の育成 第1節 育林と造林 第1 造林と伐採、更新、保育 1 伐採、更新、保育の相互関係 2 森林の伐採と造林	6	・育林や造林の必要性や方法、森林の適切な管理について理解する。	○説明を聞き、理解した事項を工夫してノートへ書けている。また、疑問点をノートにメモ書きできている。
	5	第2 森林の更新 1 更新方法の種類 2 苗による更新 3 種子による更新 4 枝による更新 5 萌芽更新	6	・森林の更新では、育種の方法について学習し、それぞれ種に応じた繁殖法を理解する。	・観察（行動・発言） 中間考査
	6	第3 林木の育苗 1 苗木の育成方法 2 実生苗の育成 3 さし木苗の育成	6		
	6	第4 林木の育種 1 林木育種の方法 2 先端技術の育種への応用	4	・第2・3で学習した苗木を用いて適切な植林に関する知識とその方法について理解する。	○提示された課題プリント・授業におけるプリントを丁寧にかつ、正確に仕上げることができる。
	7	第5 造林の実際 1 木材生産のための針葉樹植え付け造林 2 公益的機能に配慮した造林方法	4		・プリント仕上げ 期末考査
	9	第1 森林の保育 1 林木の保育 2 林地の保育	6	・森林の保育では、林木の成長を促すためだけでなく、森林全体の形質を高めるためのものであることを理解する。	○説明を聞き、理解した事項を工夫してノートへ書けている。また、疑問点をノートにメモ書きできている。
	10	第2 森林の保護 1 世界で起こっている森林破壊 2 日本で起こっている森林被害 3 山地災害 4 気象災害 5 生物害 6 人為的災害	6	・現在演習でも行われている作業でもあるため、その内容をしっかり理解する。	・観察（行動・発言） 中間考査
	11	第4章 山地の保全 第1節 治山治水 第1 治山の意義 1 治山の重要性 2 治山の歴史	8		
	11	第2 山地の荒廃 1 山地侵食と溪流の荒廃 2 侵食の素因と誘因 3 侵食の発生 4 山崩れ 5 地すべり	10	・健全な森林を育成維持するために必要とされる、治山について、その重要性と、治山の歴史やその種類について理解する。	○提示された課題プリント・授業におけるプリントを丁寧にかつ、正確に仕上げることができる。
	12	第3 水の循環 1 水の循環	2	・治山治水を行う上で、地盤の強弱や災害・侵食の過程について理解する。	・観察（行動・態度） ・ノート作成 期末考査
1	第4 溪流工事 1 溪流工事の目的 2 溪流工事の種類	6	・土壌侵食や土砂災害の防止のために、その土地に応じた工事の種類やその方法について理解する。	○説明を聞き、理解した事項を工夫してノートへ書けている。また、疑問点をノートにメモ書きできている。	
2	3 横工 4 縦工 第5 山腹工事 1 山腹工事の目的 2 山腹緑化工の種類	6		・観察（行動・態度） ・ノート作成 学年末考査	